

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
令和4年度事業計画

【基本方針】

主として独立行政法人日本芸術文化振興会（以下「振興会」という。）からの委託を受け、組踊等の公開等の事業について次の業務を行う。

- 1 沖縄伝統芸能等の公演
- 2 伝統芸能伝承者養成業務
- 3 調査研究、資料収集・利用業務
- 4 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること
- 5 国立劇場おきなわの施設の管理運営
- 6 その他必要な業務

1 沖縄伝統芸能等の公演（196,405千円）〈前年度107,781千円〉

(1) 自主公演の開催（193,195千円）

〔目 的〕 沖縄伝統芸能等の公演

〔事業内容〕 自主公演（下記の25公演41回）の稽古及び開催

○定期公演（14公演18回）

公 演 名	期 日	回数
うりずんの舞	4月9日、10日	2回
組踊「賢母三遷の巻」	4月23日	1回
唄方～島々の誉れ歌・情け歌・哀れ歌～	5月14日	1回
宮城幸子・志田房子人間国宝認定記念「琉球舞踊特選会」※	5月28日	1回
組踊「花売の縁」※	6月25日	1回
琉球舞踊鑑賞会	7月9日	1回
男性舞踊家の会	9月24日、25日	2回
沖縄本島民俗芸能祭	12月11日	1回
組踊「北山敵討」	12月17日	1回
琉球舞踊特選会※	1月14日、15日	2回
古典音楽の美	2月18日	1回
組踊「久志の若按司」	2月25日	1回
創作舞踊の会	3月11日	1回
史劇「玉川王子」	3月25日、26日	2回

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

○企画公演（5公演6回）

公 演 名	期 間	回数
千本ゑんま堂狂言	6月12日	1回
喜劇「トートーメー万歳」	10月29日、30日	2回
国立劇場寄席	11月12日	1回
アジア・太平洋地域の芸能	11月27日	1回
新作組踊	1月28日	1回

○研究公演（1公演3回）

公 演 名	期 間	回数
朝薫五番・からくり花火の実演※	10月14日～16日	3回

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

○普及公演（5公演14回）

公 演 名	期 間	回数
琉球舞踊鑑賞教室※	7月23日	1回
親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」※	8月6日、7日	2回
沖縄の音色～うちなー楽器ありんくりん～※	8月20日	1回
沖縄芝居鑑賞教室「黒島王物語」※	9月15日～17日	3回
組踊鑑賞教室「二童敵討」※	11月16日～19日	7回

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

(2) 自主公演の開催準備（295千円）

[目 的] 公演事業委員会で、令和5年度開催の自主公演のあり方について検討する。

[事業内容] 公演事業委員会を開催し、有識者から様々な意見を聴取、検討する。

(3) 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業（4,500千円）

[目 的] 国立劇場おきなわが、県内外の多くの方が利用する本県の文化観光施設の拠点となることを目指し、県外公演を実施する。

[事業内容] 令和4年5月22日(日) 京都芸術劇場 春秋座
「琉球舞踊と組踊（花売の縁）」

(4) 沖縄県・国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業（1,585千円）

[目 的] 国立劇場おきなわの公演を鑑賞する機会の少ない層に影響力がある集団に対して、劇場までのバスチャーター経費を助成する。

[事業内容] ・貸切バスの費用を助成する。

2 伝統芸能伝承者養成業務（23,310千円）〈前年度23,310千円〉

(1) 組踊(立方・地方)の伝承者養成事業（20,566千円）

[目的] 国の重要無形文化財「組踊」立方・地方の伝承者を養成する。

[事業内容] 第6期研修生に対し、実技（組踊・副・基礎）等研修及び発表会を実施するとともに、組踊養成事業の計画並びに評価を専門的観点から検討するため、養成事業委員会を開催する。また、選考委員会を開催し、第7期研修生を募集・決定する。

- ・令和4年10月6日 第6期組踊研修生第5回研修発表会 大劇場
- ・令和5年3月2日 第6期組踊研修修了発表会 大劇場

(2) 既成者研修事業（2,744千円）

[目的] 研修を修了した者に既成者研修を行い、技芸の向上を図る。

[事業内容] 組踊研修を修了した若手実演家に対し、組踊実技の研修及び若手伝承者公演を実施する。（12月3日 第12回若手伝承者公演 大劇場）

3 調査研究、資料収集・利用業務（29,311千円）〈前年度22,375千円〉

(1) 芸能記録作成（19,730千円）

[目的] 組踊等沖縄伝統芸能の調査を実施し、収集、整理及び記録作成を行う。また、自主公演の記録、上演資料集、公演記録台本等の作成等を行う。

[事業内容] 組踊等沖縄伝統芸能の調査、収集、整理及び記録作成を行うとともに、自主公演の公演記録、上演資料集及び公演記録台本の作成を行う。

(2) 組踊等沖縄伝統芸能の図書資料等の収集・整理・利用（9,581千円）

[目的] 組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資する図書資料等の収集、整理を行う。また、芸能資料展示、公演記録映像の公開を行い、一般の利用に供する。

[事業内容] 図書資料等の収集整理、芸能資料展示、公演記録映像の公開を行い、一般の利用に供する。また、公演記録鑑賞会及び沖縄伝統芸能等公開講座を開催する。

【展示】

- ・令和4年4月9日～6月19日 第1回企画展「朝薫五番」
- ・令和4年7月9日～9月19日 第2回企画展「首里城と芸能」
- ・令和4年10月8日～12月18日 第3回企画展「琉球手技展」
- ・令和5年1月14日～3月19日 第4回企画展「沖縄芝居」

【公演記録鑑賞会及び公開講座】（合同開催）

- ・令和4年6月15日 「近現代の女性舞踊家」
- ・令和4年8月14日 「こどもサマースクール」
- ・令和4年9月21日、9月28日 「首里城と芸能」
- ・令和5年2月15日 「沖縄芝居入門」

4 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること（6,041千円）〈前年度6,834千円〉

(1) 劇場施設の貸付

〔目的〕 劇場施設（大劇場、小劇場及び稽古場）の貸付を行い、芸術・文化の振興に寄与する。

〔事業内容〕 劇場施設の貸付を行い、国民の芸術・文化活動等の利用に供する。

5 国立劇場おきなわの施設の管理運営（586,907千円）〈前年度597,130千円〉

(1) 国立劇場おきなわの施設の管理運営

〔目的〕 振興会からの委託を受け、国立劇場おきなわの施設の管理運営を行う。

〔事業内容〕 国立劇場おきなわの施設の管理運営。

6 その他必要な業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催（4,425千円）

〔目的〕 国立劇場おきなわ自主公演を継続して鑑賞する者の便宜を図ることを目的とする「友の会」の会員募集を行う。また、会員特典として、会報の発行や講演会等を開催する。

〔事業内容〕 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集、会報の発行及び講演会等の開催。

(2) 募金活動の推進（640千円）

〔目的〕 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団の活動資金の造成を図る。

〔事業内容〕 企業等へ寄附金を依頼する。

(3) インバウンド・国内文化観光再興事業（7,418千円）

①組踊ワークショップ等の開催（7,352千円）

〔目的〕 はじめて組踊等の沖縄伝統芸能に触れる方にも興味を持っていただけるよう、県内外において組踊ワークショップ等のイベントを開催する。

〔事業内容〕 自主公演や県外公演にあわせ組踊ワークショップ等のイベントを県内外において開催することで、沖縄伝統芸能の魅力を伝えていく。

②オンライン通訳サービスの導入（66千円）

〔目的〕 外国人客と円滑なコミュニケーションが図れるよう窓口のサービス向上を図る。

〔事業内容〕 民間会社の提供するオンライン通訳サービスを利用し、来場又は電話による問い合わせをされる外国人客に対応する。

【参考】「日本博」事業関連（159,301千円）※金額は、上記「1 沖縄伝統芸能等の公演」及び「5 国立劇場おきなわの施設の管理運営」の内数

※「日本博」は、「日本の美」の多様かつ普遍的な魅力を国内外へ発信し、次世代に伝えることで、更なる未来の創生を目指し、我が国の文化芸術の振興を図る文化庁の事業

(1) 沖縄県本土復帰50周年・「組踊」国指定重要無形文化財50周年記念
首里城「御城舞台」と琉球花火の復元

①自主公演のうち日本博事業として申請した公演

公 演 名	期 日	回数
朝薫五番・からくり花火の実演	10月14日～16日	3回

②シリーズ「首里城と芸能」－講座・御冠船躍と花火－

〔目 的〕琉球芸能の学術研究の立場から、首里城の歴史と環境を検証する講座を実施し、首里城火災復旧復興の一助として沖縄の歴史的文化遺産を育てる機運とする。

〔事業内容〕講座を開催し、首里城の歴史と環境から琉球芸能を考察するとともに、琉球のからくり花火についてわかりやすくまとめた日英併記パンフレットの作成やこれまでの復元公演についてまとめた書籍を刊行する。

③沖縄伝統芸能の多言語PR映像制作及びプロモーション

〔目 的〕沖縄伝統芸能のブランディングの強化及び沖縄伝統芸能鑑賞を目的としたインバウンド等の拡充を図る。

〔事業内容〕外国人をメインターゲットとした沖縄伝統芸能をPRする映像を制作し、SNS等を活用して国内外に発信する。

(2) 琉球の美～沖縄伝統芸能の継承と発信～

①自主公演のうち日本博事業として申請した公演

公 演 名	期 日	回数
宮城幸子・志田房子人間国宝認定記念「琉球舞踊特選会」	5月28日	1回
組踊「花売の縁」	6月25日	1回
琉球舞踊鑑賞教室	7月23日	1回
親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」	8月6日、7日	2回
沖縄の音色～うちなー楽器ありんくりん～	8月20日	1回
沖縄芝居鑑賞教室「黒島王物語」	9月15日～17日	3回
組踊鑑賞教室「二童敵討」 はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『二童敵討』	11月16日～18日 11月19日	7回
琉球舞踊特選会	1月14日、15日	2回

②オーディオガイドシステム等の導入

[目 的] 外国人客や県外観光客にも組踊公演を楽しんでいただくため、オーディオガイド、字幕タブレットを提供する。

[事業内容] 普及公演「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『二童敵討』」等において、多言語のオーディオガイドや字幕タブレットを導入することで、外国人客や県外観光客の観劇をサポートする。

③公演に係る広告宣伝

[目 的] 若年層や県外在住者（観光客等）に沖縄伝統芸能の魅力を喚起するため、各種宣伝広告を行う。

[事業内容] 各公演の魅力を伝えるため、誘客を図る動画を制作するとともに、多言語のチラシやポスターを作成するほか、外国人向けの広報媒体に広告を掲載する。

④外国人のための組踊ワークショップ

[目 的] 外国人客が組踊に対する理解を深め、公演をより楽しんでいただけるよう、英語通訳のある組踊ワークショップを開催する。

[事業内容] 普及公演「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『二童敵討』」の開演前に、英語通訳のある組踊ワークショップを開催し、レクチャー・体験等を通して組踊への理解を深めていただくことで、外国人客の観劇をサポートする。